

準備

datatables のスクリプトとCSSを head 内に設置します。スクリプトは body 最後でも構いませんが、順序には気を付けてください。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="https://cdn.datatables.net/1.10.19/css/jquery.dataTables.min.css">
<script type="text/javascript" src="https://cdn.datatables.net/1.10.19/js/jquery.dataTables.min.js">
```



サンプルテーブルHTML

コード (ページ送り)

Class の設定

スタイリングオプションは table タグの class=" " で設定します。

デザインは WordPress テーマやブログサービスによって定義されていることがあるため、無効になることがあります。

10 ▾ 件表示

検索:

オプション	デフォルト値
cell-border	セルのすべての辺のボーダ（罫線）を表示
compact	セル内の余白を小さくし、情報量を増やす
display	下に記載している stripe, hover, row-border, order-column クラスを一括適用
hover	マウスオーバー（マウスカーソルが乗った時）にその行の色を変える
nowrap	セル内の折返しを禁止（テーブルセル内を 1 行で表示）
order-column	並べ替えた列を強調表示する
row-border	ボーダーラインを上と下にだけ表示させる（シンプル罫線）
stripe	行をストライプ表示（奇数・偶数行ごとに色を変える）

```
<table id="myTable" class"display">
```

複数指定

```
<table id="myTable" class"display compact">
```

ボタンを押してスタイルを確認

ボタンを押すとそれぞれのスタイルを確認できます
テーブルクラス： stripe display cell-border compact

display

cell-border

compact

hover

nowrap

order-column

row-border

stripe

年	出生率	合計特殊出生率	出生数
2016	7.8	1.44	976978
2014	8.0	1.42	1003539
2015	8.0	1.45	1005677
2012	8.2	1.41	1037231
2013	8.2	1.43	1029816
2011	8.3	1.39	1050806
2005	8.4	1.26	1062530
2009	8.5	1.37	1070035
2010	8.5	1.39	1071304
2007	8.6	1.34	1089818

列ごとにスタイル・プロパティを設定する

特定の列にだけスタイル・プロパティを適用したい時はcolumnDefsを使う。
targets:[列番号]。0から始まります。複数指定は","カンマ で。全部指定するなら "_all" で。

```
$( '#myTable2' ).DataTable({
  columnDefs: [
    {targets: [0, 1], visible: true},
    {targets: '_all', visible: false }
  ],
});
```

左から順に埋めていくなら "columns" を使う。左から順に全て満たす必要があります。特に指定しないなら "null" すればデフォルト設定になります。

]

もの。

セルのスタイリング（中寄せ右寄せ）

セル内のテキスト配置を列ごとに設定できます。

10 件表示

検索:

オプション	意味
dt[-head -body]-center	テキスト中寄せ
dt[-head -body]-justify	テキスト均等揃え
dt[-head -body]-left	テキスト左寄せ
dt[-head -body]-nowrap	テキストを折り返さない
dt[-head -body]-right	テキスト右寄せ

5 件中 1 から 5 まで表示

い時に使います。head は thead 内、body は

1

次

列タイトルを折り返したくなければ、`"dt-head-nowrap"`、列データを右寄せにするなら `"dt-body-right"` とします。

使い方

“columnDefs” や “columns” を使って、クラス名に “dt-body-nowrap” の形で指定します。

```
“columnDefs”: [
  { className: “dt-head-nowrap”, “targets”: [ 0 ] }
]
```

個別の列に対して指定するので、すべてに適用したい時は ‘_all’ を用います。

補足

スタイリングオプションのクラスは自分でも設定できますが、Wordpress のテーマやブログサービスによっては、初期スタイルを否定する必要があります。

WordPress テンプレート “Luxeritas” であれば、.post table の border を解除しないと、ボーダー野線のオプションは機能しません。

Luxeritas でボーダーを解除

```
<style>.post table{border:none;}.post td{border:none;}.post tl
```

